

令和3年度 第1回学校評価集計結果報告

保護者の皆様には、日頃から本校教育活動に御理解と御協力をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、本校の教育活動についての第1回学校評価集計結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

また、学校教育への御提言・御要望等もいただきました。それらを真摯に受け止め、今後も学校・家庭・地域が連携した教育活動の充実に努めてまいります。

今後とも、皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

記

1 アンケート結果について・・・裏面参照

- 保護者回収率： 90% (64人/71人)
- 回答結果をそれぞれの人数で表し、項目ごとの平均も示しています。

○ 結果

保護者回答率90%の御協力をいただくことができました。自由記述にも貴重な御意見をいただき、ありがとうございました。全体として比較的高い評価として捉えていますが、改善の余地は多くあります。また、今回は△表記(よくわからない)が多く選択されていたことについて、学校からの発信が足りなかったと反省をし、今後は周知努力をしていきます。同時に、この学校評価を親子のふれあいの時間と捉えていただければとも思います。お子さんと一緒にやっていただくことで、見えていなかった学校やお子さんの新たな一面や事実が分かるかもしれません。今回の結果は三井楽小学校の教育活動のさらなる充実につなげていきます。

2 今後の取組

確かな学力	<p>全体的に厳しめの評価でした。特に知識や技能(基礎基本)及び表現力については重点的に指導すべきであると考えられます。新学習指導要領で言われる学力の3要素とは「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」ですから、求められている学力の向上に引き続き努めていきます。</p> <p>同時に、学力の向上には家庭と学校の連携も欠かせません。家庭学習はその基本であり、生活習慣とも関わりがあります。お互いの役割を果たしていくことが必須です。力を合わせて挑みましょう。</p>
豊かな心	<p>「あいさつ、言葉遣いは礼儀」です。そういう意味では、相手を尊重する思いや態度の表出に力を入れる必要がありそうです。決して子どもたちに相手意識がないということではありません。学校では子どもたちの優しさや温かさがあふれていますし、学習もしています。ただ、「すべきことをする」「だめなものはだめ」ということの徹底は必要です。</p> <p>そのためには「なぜするべきなのか」「なぜだめなのか」と子どもたちに分からせなくてはなりません。そのためには、やはり家庭と学校の連携が必須です。小学校段階では躰(しつけ)の要素が強くなりますが、これは子どもたちが社会に出た際の礎になります。</p>
全般	<p>全体的に家庭、学校、児童の評価はバランスがとれています。しかし、ほぼ全ての項目において児童の評価が保護者、職員より高い結果になっています。このことは自己肯定感という点において大いに認めていきたいと思えます。しかし、我々大人は教え導き先導する立場として、実際に教え、さらに高みへと引き上げる役割を担っています。</p> <p>できないことを責めるのではなく、できることを過剰に褒めるのでもなく、子どもの成長を願い情報を得ながら、支えるための知識や技能を身に付けることができるよう、連携を図っていければと思います。</p>

今後とも御協力の程よろしくお願い申し上げます。

令和3年度 学校評価集計結果(第1回)

評価項目	質問内容	保護者アンケート結果(人)					平均			分析
		4	3	2	1	△	保護者平均	職員平均	児童平均	
学校経営	1 学校は、子供一人ひとりを大切にしている。	22	39	2	0	1	3.3	3.5	3.5	<ul style="list-style-type: none"> 比較的高評価である ふるさと教育については周知が必要
	2 学校は、子供が楽しく過ごせる場になっている。	31	29	3	0	1	3.4	3.2	3.3	
	3 学校は、ふるさとに親しみをもつ子供を育てている。	15	44	1	0	4	3.2	3.0		
確かな学力	4 子供は、授業で学んだことがわかっている。	12	41	9	1	1	3.0	2.5	3.3	<ul style="list-style-type: none"> 全体的に厳しめの評価である。 児童の自己評価が高い 基礎基本の内容の定着が課題
	5 子供は、計算や漢字等、基礎基本的内容を身に付けている。	11	37	12	3	1	2.9	2.5		
	6 子供は、自分の思いや考えを伝える力を身に付けている。	3	49	11	1	0	2.8	2.4	3.0	
	7 子供は、英語の学習に興味をもっている。	15	37	5	4	3	3.0	3.3	3.5	
	8 子供は、読書の習慣を身に付けている。	13	25	18	6	2	2.7	2.9	3.1	
	9 子供は、家庭学習の習慣を身に付けている。	12	39	13	0	12	3.0	2.9	3.0	
豊かな心	10 子供は、自らあいさつをしている。	8	42	13	0	1	2.9	2.1	3.0	<ul style="list-style-type: none"> 「あいさつ」「言葉遣い」が厳しい評価となっている いじめに関しては大きいも小さいもなく、嫌な思いをしている児童がいるということ。より高みを旨す余地がある
	11 子供は、時や場、相手に応じた言動をとることができる。	6	41	14	1	2	2.8	2.0	3.0	
	12 子供は、きまりを守って生活している。	10	46	6	1	1	3.0	2.6	3.2	
	13 学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	11	46	3	0	4	3.1	3.3	3.3	
	14 学校は、相談ごと、悩みごとに親身に対応している。	20	41	0	1	2	3.3	3.5	3.6	
健やかな体	15 学校は、子供の体力向上に努めている。	13	46	2	1	2	3.1	3.0	3.3	<ul style="list-style-type: none"> 比較的高評価といえる 生活習慣は家庭による部分が多いが具体の共有は必要である
	16 学校は、子供が安全・安心に過ごせる環境になっている。	25	39	0	0	0	3.4	3.4	3.5	
	17 子供は、基本的な生活習慣や衛生習慣を身に付けている。	7	54	3	0	0	3.1	2.7	3.3	
信頼される学校	18 学校は、保護者や地域の人との連携が図られている。	13	45	2	0	4	3.2	3.1		家庭や地域の多大な御理解と御協力の下に本校は教育活動を展開することができています
	19 学校は、各種たよりやホームページ等を通して、積極的に情報を提供している。	24	37	2	0	1	3.3	3.5		